

生きづらさからの大脱出

ーいやしのソングと生の声を聞こうー

引きこもりの子どもは、全国に50万人以上いるといわれます。経済的に豊かになり、小さな命を育む環境は整ったはずなのに、生きづらさを抱える子どもはむしろ増えているのではないのでしょうか。わたしたちは、当事者の生の声を聞かせていただくことから始めたいと思います。子どもの気持ちに寄り添いながら、生きる力を一緒に育み、子どもが自らの道を見つけていく応援団を増やしたいと思います。当事者やそのご家族の参加もお待ちしております。

日時

1月13日(日)

午前10時～12時

場所

我孫子市民プラザホール

我孫子4-11-1

JR我孫子駅北口より北へ徒歩5分
(あびこショッピングプラザ3階)

参加費

無料 (事前申込制、当日参加も歓迎)

内容

1. 子どものSOSソングライター悠々ホルンさんの歌とトーク
2. 当事者によるトーク
3. 参加者も交えての意見交換と感想タイム

協力

我孫子地区障害者まちかど相談室・あびこ相談支援センター／就労移行支援事業所エール我孫子／我孫子自主夜間中学あびこプラスワン／フリーダム21K&P／地域活動支援センターみんなの広場「風」／NPO法人わごころ／認定NPO法人東葛市民後見人の会／不登校問題を考える東葛の会子どもの居場所『ひだまり』



代表曲

- ♪「おかえり」
- ♪「私を嫌いなママ
～リストカットの理由～」
- ♪「15歳-不登校-」

子どものSOSソングライター **悠々ホルン**

<プロフィール>

我孫子市出身。子ども達の辛い想いを代弁するシンガーソングライター。10代の時に、不登校や自殺未遂に及ぶ。

実体験をもとにした歌をインターネット上に公開したことをキッカケに、心に傷を負った中高生を中心に支持が広がり、これまでに6000通を超える応援・相談メッセージが全国から手紙やメールにて届いている。その内容は、家庭不和、いじめ、虐待、不登校、援助交際、自傷行為、病気、自殺願望など。

子ども達のSOSを歌や動画を通して代弁する他、法務省、厚生労働省、学校、親の会など、あらゆる方面から声がかかり講演活動を各地で行っている。朝日新聞やNHKなど、様々なメディアにて取り上げられてきた。

主催：あびこ市民活動ネットワーク、あびこ市民活動ステーション

後援：我孫子市、我孫子市教育委員会

お申し込み・お問い合わせ先

あびこ市民活動ステーション (高橋)

電話・FAX 04-7165-4370 メール abikosks@themis.ocn.ne.jp